

水産物の市況について(令和元年9月及び令和元年10月)

—東京都中央卸売市場における令和元年9月(令和元年8月21日～令和元年9月20日集計)の市況と、
令和元年10月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和元年9月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、増加し、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は弱含みに推移しました。

II 令和元年10月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は、増加と見込まれ、卸売価格は、弱含みと見込まれます。

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は、横ばいと見込まれ、卸売価格は、横ばいと見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量は、道東～三陸で漁が本格化することからやや増加するものの、旬の秋さばとして需要が強くなることから、卸売価格は、強含みと見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

生鮮物の入荷量は、減少と見込まれ、卸売価格は、強含みと見込まれます。冷凍物の入荷量は、生鮮物の不足を補うために使われることからやや増加と見込まれるものの、卸売価格は、強含みと見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

入荷量は、減少と見込まれ、卸売価格は、強含みと見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は、やや増加と見込まれ、卸売価格は、やや弱含みと見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

入荷量は、減少と見込まれ、卸売価格は、やや強含みと見込まれます。

「さんま(生鮮品)」

入荷量は、解凍物主体であり、新物が徐々に増加するものの、不漁のため例年より大幅に少なく、生鮮向けサイズが少ないことから、卸売価格は、高値・横ばいに推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	9月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
元年	32	1,095	28	1,146	32	1,070
前年	39	1,101	29	1,128	33	1,086

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主要品目の価格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	9月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	448	94	118	111
さけ・ます(平均)	1,006	99	92	108
(ぎんざけ塩蔵品)	1,037	99	99	110
(あきさけ塩蔵品)	951	104	111	110
(ときさけ塩蔵品)	1,211	95	88	115
(べにざけ塩蔵品)	1,342	102	97	115
(さけ類冷凍品)	981	100	93	110
さば(生鮮品)	669	143	125	135
するめいか(平均)	840	121	106	139
(生鮮品)	832	126	104	136
(冷凍品)	893	101	115	157
あじ(生鮮品)	559	91	101	100
さんま(生鮮品)	788	100	87	92
まぐろ(冷凍品)	1,404	91	91	93
(めばち冷凍品)	1,093	99	94	101
(きはだ冷凍品)	657	85	66	63
(くろまぐろ冷凍品)	3,244	98	98	91
(みなみまぐろ冷凍品)	1,936	96	99	92
かつお(生鮮品)	384	88	56	62

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:9月の価格は1~20日までの速報値を元に算出。平年とは平成26年~30年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモン

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 北川、長谷川、大和田

直通 03-3591-5612